

オープンスペースを活用した商業イベントへの関心に関する意向調査 集計結果報告

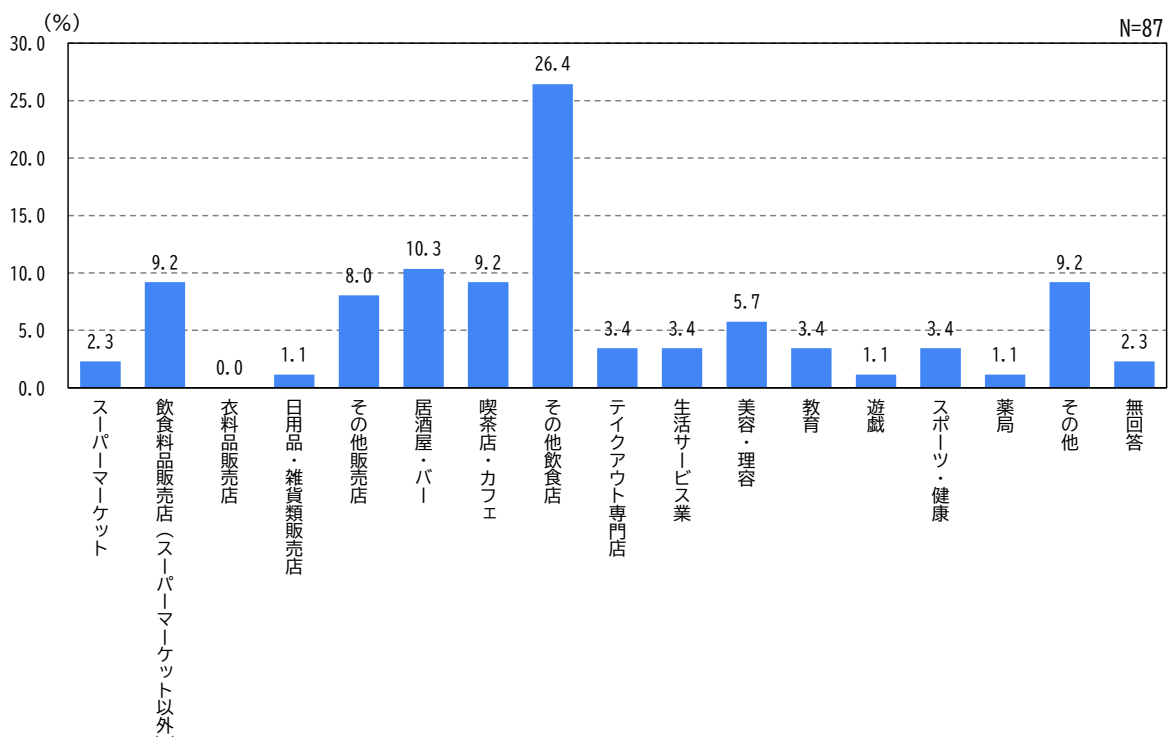
1. 実施概要

令和3年2月に、小金井市内の商店・飲食店、サービス業等を対象としたアンケート調査「オープンスペースを活用した商業イベントへの関心に関する意向調査」を実施しました。

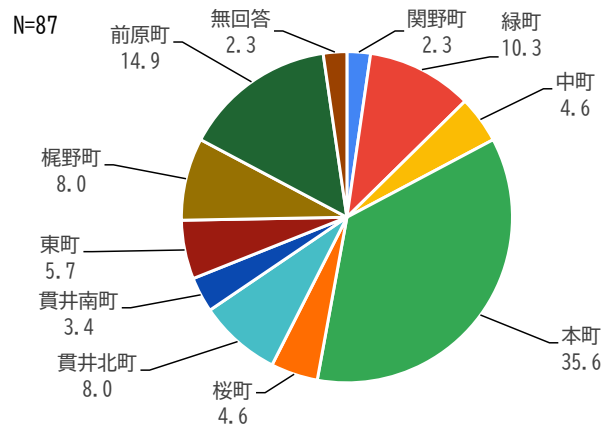
目的	・新型コロナウイルス感染症の対策として、小金井市において三密を避けた商業振興を検討するため市内商業者の意向を把握する
実施方法	・Google フォームにて回答画面を公開し、郵送およびメールにて回答画面を周知
設問数	10問
対象	・小金井市観光まちおこし協会会員 ・その他市内事業者（飲食店、商店、生活サービス業、教育事業者、医療・健康、美容・理容等）
有効回答数	87件（対象者：約700件）

2. 集計結果

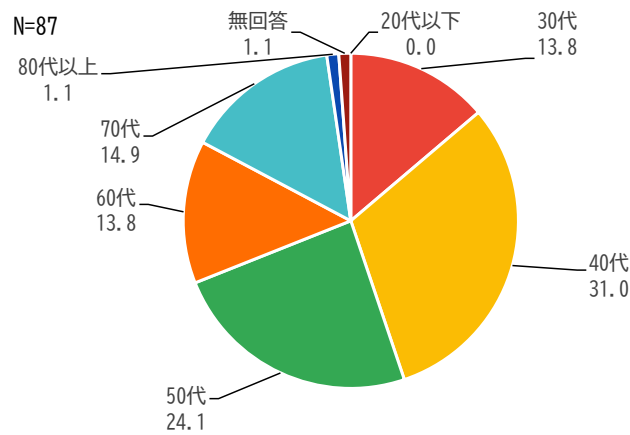
Q1. 業種は何ですか。（1つ選択してください。）



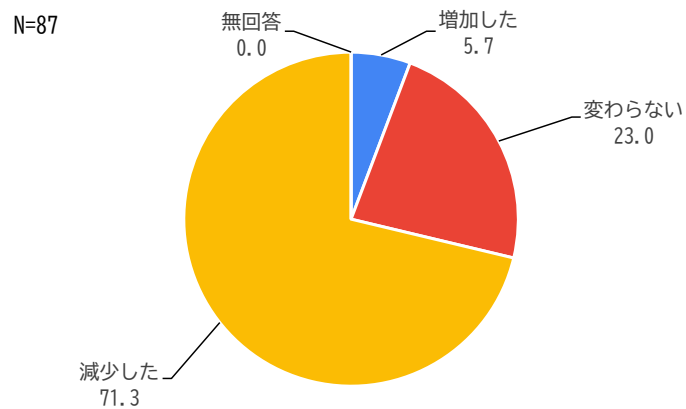
Q2. どちらに立地していますか。(1つ選択してください。複数の店舗がある場合は主な店舗を選択してください。)



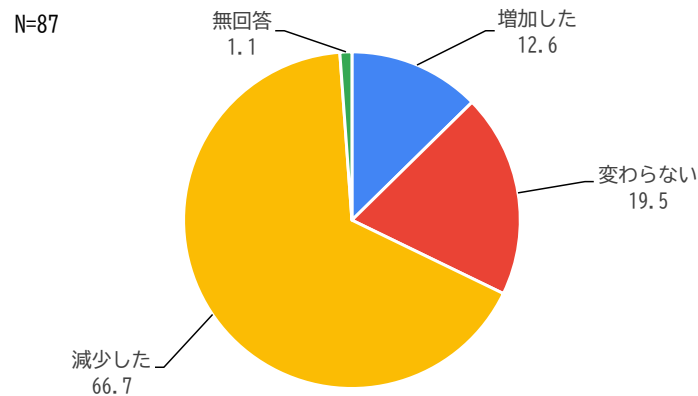
Q3. 事業主の年代はどちらになりますか。(1つ選択してください。)



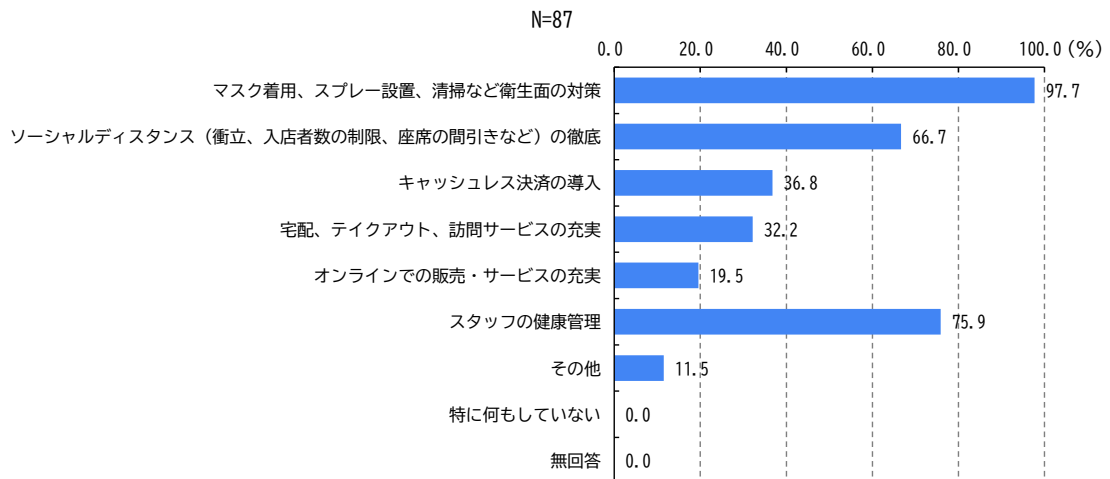
Q4-1. 新型コロナウイルス感染症が流行して以降、売上に影響はありましたか。(1つ選択してください。)



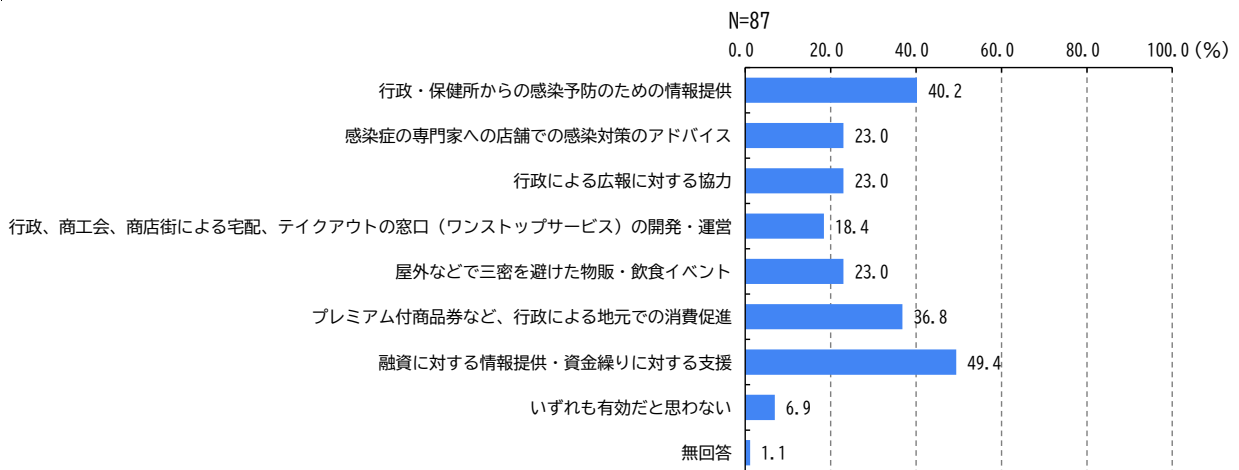
Q4-2. 新型コロナウイルス感染症が流行して以降、客足（テイクアウト、宅配、出張サービスでの利用は含みません）に影響はありましたか。（1つ選択してください。）



Q5. 新型コロナウイルス感染症が流行しているなか、営業面で何か工夫をしましたか。（いくつでも選択できます。）



Q6. 新型コロナウイルス感染症が流行するなか、貴店の事業を継続する上での支援として、次のものから有効だと思うものを選んでください。（いくつでも選択できます。）



Q7. そのほか、新型コロナウイルス感染症流行下において事業を継続する上で、あると助かることがあれば自由に書いてください。

主な回答

■消費者への情報提供等

- ・消費者と商店の間を、非対面で販売できる、橋渡しをこれからの「インフラ」として整備して欲しい。(その他飲食店)
- ・SNS 活用やネット販売、HP 制作の補助や具体的なヘルプ (その他販売店)
- ・現段階では数か月後の収益も大事ですが、1年近くコロナ禍での営業が続いているいま「今日・明日から反映できること」へ参考とする消費者の生活に関する情報が定期的に関連できると嬉しいです。例えば、在宅者(テレワーク)の増加比率や要望、市内の消費者となる市民のコロナ禍での悩みや課題。それを解決するためのアイデアが商売のヒントになるかもしれません。コロナ禍でお客様との接触が極限まで削減されている今は声を聴ける公的団体様から市民の今を発信していただけると助かります。(飲食料品販売店(スーパーマーケット以外))
- ・コミュニティスペースでの宣伝が出来ると嬉しいです(お金がそこまでかからずに)(その他飲食店)

■宅配、テイクアウトに対する支援

- ・応援弁当の企業・行政施設・病院等大口の顧客への営業及び、ルート配送
- ・近隣の市区町村と連携し、大学・自衛隊・警察学校等の給食を行っている組織等への営業及びルート配送

■イベント開催の工夫

- ・イベントにおける屋外グラウンド等の提供 (その他)
- ・イベントをすべて取り止めるのではなく、ソーシャルディスタンスなどの対策をとってイベントを開催するべきだと思います。(飲食料品販売店(スーパーマーケット以外))
- ・nonowa やソコラ・改札前スペース・ヨーカドー前広場の利用者(通行者)の多い商業施設等への催事出店(居酒屋・バー)

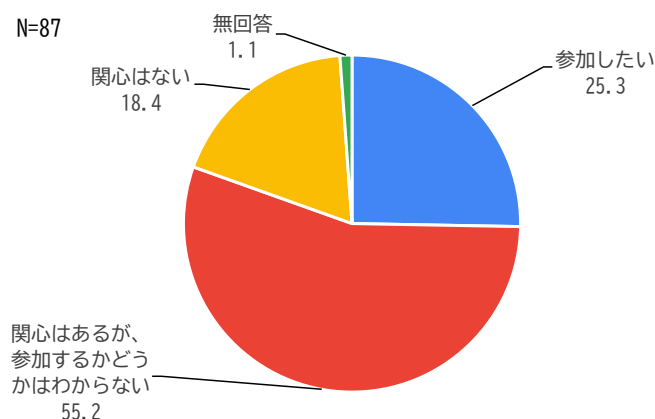
■感染予防への支援

- ・感染予防グッズの斡旋 公認 (その他販売店)
- ・空気清浄機など感染防止になるもので割安なもの紹介 (その他飲食店)
- ・コロナ対策への補助金。網戸設置や、パーテーションなど。(居酒屋・バー)
- ・家賃補助・感染症予防対策費(美容・理容)

■雇用に対する工夫

- ・働き手のマッチング (その他)
- ・営業時間短縮による労働者(特に学生アルバイトの確保)に対する支援等。リモート授業により地方出身の学生アルバイトの不足や営業短縮に伴う減収なども有り、今後労働力の不足を懸念してます。(その他飲食店)

Q8. 佐賀ナイトチャレンジのような、三密を避けて屋外において物販や飲食物を提供するイベントに関心はありますか。(1つ選択してください。)



※佐賀ナイトチャレンジとは

新型コロナウイルス感染症が流行して以来、「三密」を避けることが対策として推奨されています。そのなかで、佐賀県では令和2年6月に飲食店の前の街路にテーブル等を出し、屋外で飲食を楽しむことのできるイベント「佐賀ナイトチャレンジ」が開催されました。それをきっかけとして、さまざまな活動が取り組みられており、駐車場や公園でのマルシェなど、三密を避ける屋外空間の活用が進められています。